

教育の振興に関する施策の大綱

（男鹿市教育大綱）

2018年(平成30年)10月

秋田県男鹿市

男鹿市教育大綱

1 目指す子ども像・市民の姿

○ふるさと男鹿を愛し、すぐれた知性、豊かな心、たくましい体を持ち、
ふるさと男鹿の将来を担う子ども

○生涯を通じて学び、「健幸都市」づくりを目指す男鹿市民

2 取組の方針

～コミュニティ・スクールを生かした教育の推進～

男鹿市と男鹿市教育委員会は、目指す子ども像や市民の姿の実現に向け、子どもは社会の宝であり、人材は地域の大切な財産であるとの基本的な考えのもと、連携して「子どもたちの育成」と「市民の生涯にわたる学び」を支えるため、互いのもつ情報・知識の共有や資源の有効活用などを図りながら、コミュニティ・スクールの仕組みを活用した「人づくり」「地域づくり」「学校づくり」のために、次の3つの柱で総合的に取り組みます。

3 取組の柱

○ふるさと教育を充実し、心豊かな子どもを育む学校教育を推進します。

○「健幸都市」づくりを目指す生涯学習を推進します。

○自立し、開かれた学びを支援します。

4 対象とする期間

平成30年度から平成32年度まで

平成30年10月1日

男鹿市長 菅原 広二

【教育の振興に関する施策の大綱】

男鹿市の教育に資するため、以下の5つの目標の実現を図ります。

1. 教育環境の整備

- (1) 学校、保護者、地域、行政が一体となって学校をサポートするコミュニティ・スクールを積極的に推進します。
- (2) ICTを活用した学習環境の整備を推進することにより、児童生徒の学力向上を支援し、情報化社会に対応する力の育成に努めます。
- (3) 児童・生徒の少子化により多くの学校が小規模校化する中で、小・中学校の適正配置に関する計画を策定し、未来の子どもたちのよりよい教育環境を目指します。

2. 地域間交流の機会の充実と国際交流の推進

- (1) 児童生徒の豊かな人間性や社会性を育むため、他地域との交流の充実を図るとともに、郷土への理解を深め、愛着心を醸成し、ふるさとに生きる意欲の喚起を目指します。
- (2) 児童生徒と国際教養大学等の留学生との交流により、ネイティブイングリッシュに触れる機会を充実させ、語学習得の意欲の増進を図るとともに、グローバル社会を見据えた人材の育成を目指します。
- (3) 国際教養大学、秋田大学、ノースアジア大学及び秋田県立大学との連携による幅広い交流により、市民への国際的視野に立った学習機会の充実に努めます。

3. 生涯学習の推進

- (1) 本市の豊かな自然を活用した青少年の体験活動をはじめ、読書活動の推進、地域行事への参画意識の高揚、ボランティア活動への参加など、青少年教育の充実に努めます。
- (2) 育児体験や結婚、妊娠、出産、育児などの教育をとおり、命を大切に育む心を育みます。
- (3) 市民の多様化、高度化する学習ニーズに対応するため、生涯学習奨励員等と連携し、学習機会の充実や生涯学び続けるための意欲の高揚を図るほか、人材活用の強化、世代間交流など、市民の豊かなワーク・ライフ・バランスにつながる取り組みを図ります。

4. 生涯スポーツ活動の推進

- (1) 市民が心身ともに幸せな生活を営める「健幸都市」づくりを推進するために、誰もが、それぞれの体力や年齢、目的に応じて気軽に体力づくりや健康の保持増進を意識した活動に親しむことができる機会の提供に努めます。
- (2) 各種スポーツ団体の活動を支援し、スポーツを支える担い手づくりに努めるとともに、既存施設の整備充実を図ります。
- (3) スポーツ合宿や各種大会の誘致を図り、高度な技術や理論を有する競技者の試合や練習に触れる機会を提供し、市民のスポーツに対する関心を高める環境づくりに努めます。

5. 芸術・文化・伝統の保護・継承

- (1) 国指定の重要文化財、有形・無形民俗文化財、天然記念物、史跡などをはじめとする、貴重な文化財の適正な維持管理に努めます。
- (2) 倫理観、家族愛、郷土愛のほか、無病息災・五穀豊穡などをもたらすナマハゲ文化や地域の「まつり」などを継承する関係団体の活動を支援します。
- (3) ジオパークの地質、自然・歴史等の遺産を保全・活用するほか、さまざまな男鹿の価値に触れる機会を提供するなど、「ふるさと男鹿」の良さを再発見し、ここに暮らす誇りと喜びが実感できる取り組みを一層推進します。